



令和5年10月6日

児童、生徒及び保護者に向けたマスク着用の影響についての
情報の周知徹底を求める請願

盛岡市議会議長
遠藤 政幸 様

請願団体 いわたの子どもたちの未来を守る会
同 住所 岩手県盛岡市
代表者氏名 佐々木 公一 

請願団体 子どもの未来をつなぐ会
同 住所 岩手県盛岡市
代表者氏名 伊藤 倫子 

紹介議員 千葉伸行
寿長根 浩

請願第 11 号



令和5年10月6日

盛岡市議会議長
遠藤 政幸 様

いわての子どもたちの未来を守る会
代表 佐々木 公一
子どもの未来をつなぐ会
代表 伊藤 倫子

児童、生徒及び保護者に向けたマスク着用の影響についての情報の周知徹底を求める請願

請願 要旨

令和5年3月に盛岡市議会において「マスク社会が与える子どもたちへの影響について情報の周知徹底を求める請願」が採択されました。また、それを受け令和5年6月14日付けで「健康な子どもたち及び教育現場におけるマスク着脱についての要望」を、当会及び賛同団体によって盛岡市及び盛岡市教育委員会に提出しました。その後の経過を見ると、教育現場において健康な人が不必要と思われるマスクを着用することについては幾分改善が見られています。ひとえに盛岡市議会の御理解と御協力の賜物と、心より感謝申し上げます。

しかしながら市内の小学校の高学年、中学校におけるマスクの着用率は、この夏の猛暑下においても依然として高く、心身に重大な健康被害を受けかねない状況が改善されているとは言い難いと考えます。また、学校によってマスク着脱への対応にも差があると感じます。盛岡市及び盛岡市教育委員会の情報の周知は「広報もりおか」やホームページ上での対応にとどまっており、実態として関心がある市民以外には情報が届きにくい状況になっている事が否定できないと考えます。

令和5年3月13日、厚生労働省から、マスク着用は個人の主体的判断を尊重し、個人判断が基本との指針が出ています。一方で、3年もの間一律にマスク着用を推奨・注意喚起されてきた子供たちは、もうすでに自分の判断でマスク着用の有無を決定できない心理状態に置かれていると危惧されます。また、子供たちにおいてその意思決定は保護者の判断に委ねられることが多く、まずは保護者に情報の周知を徹底すべきであると考えことから、下記の事項について請願します。

請願 事項

- 1 マスク着用の心身へのメリット・デメリットが理解できるような情報の周知を、教育機関において児童、生徒及び保護者に徹底して行うこと。

以上